

鉄球をルーレットへ導くため、
パイプにワイヤー加工機で
スリットを加工し、
自在に曲がるパイプスライダを
製作した。

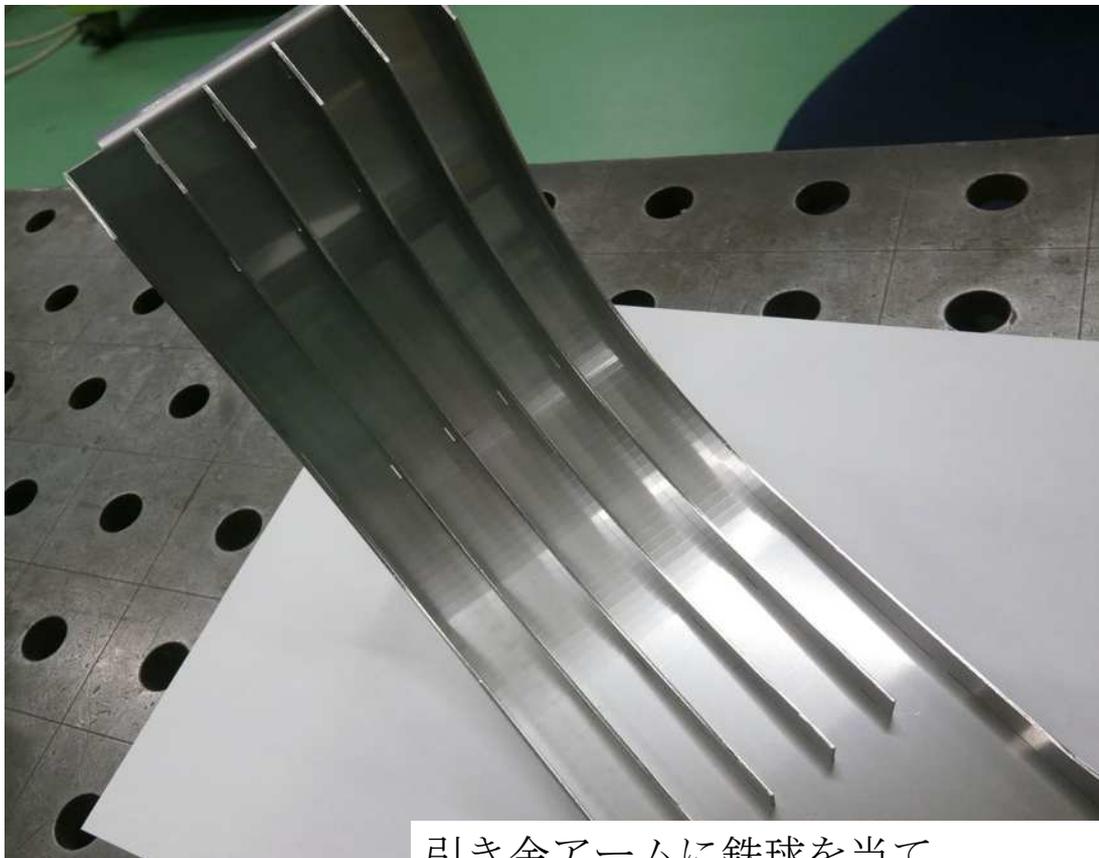


短い距離・狭い空間で
パイプの方向を
変えなくてはならなかったため、
細かく切断し溶接した。



部品一部①

鉄球が穴からランダムに落ちるように、自在に曲がるパイプを使い、ルーレットの側面を転がるようにした。



引き金アームに鉄球を当て、占い札を飛び出させる機構になっている。鉄球の落とす高さとスピードが重要となり、滑り台をこの形状にした。